

コミュニティ・スクール ちくごきた

C・S通信 (No. 6)
令和5年3月24日
筑後市立筑後北小学校
(文責 校長 松尾 泰弘)
通巻 6 号

本校は本年度からコミュニティスクールへと移行しました。学校運営委員さん、地域学校協働活動委員さんの温かいご支援、ご鞭撻を受けながら、一年間の活動をすすめることができました。また、地域学校協働活動では、沢山のサポーターの皆様のご協力を頂きました。北小の子ども達は、これまで味わうことができなかった満足感や喜びを得ることができたようです。本当に有り難うございました。今回の通信では、先日開催された、第3回学校運営協議会と地域学校協働活動推進委員会で頂いたご意見、次年度の地域学校協働活動についての方針についてお伝えします。

第3回学校運営協議会

本年度の学校の取り組み、成果と課題の報告を受け、以下のようなご意見、ご感想を頂きました。

集団づくりについて

- ・前期と比べて、成果がでてきていることから、子ども達の心の成長が見えるようで嬉しい。

授業づくりについて

- ・めあてづくりを自分たちで行うのは、むずかしいですが、チャレンジしてほしい。
- ・一人で学ぶのではなく、みんなで協働することの大切さを感じました。

環境づくりについて

・「自分にはよいところがありますか」が低い。是非、子ども達を褒めてもらいたい。地域でも褒めていきたい。褒めたところを子ども達の”心のポケット”の中に入れて、増やしてほしい。学校評価に対してのご理解とともに、子ども達や教師の取り組みについて、温かい励ましを頂きました。



第3回地域学校協働活動推進委員会

本年度の活動を振り返り、成果を共有しながら、以下のようなご意見、ご感想を頂きました。

5年生 総合「私たちの水辺公園を守ろう」での協働活動

- ・先人の苦勞（水をいかに確保するか）やこのことで北小付近の地形が変わったことなど、そうした歴史に触れてほしい。
- ※農機具（児童玄関前）は、筑後市の財産でもあるから、生かしてほしい。

6年生 国語「町の未来をえがこう」

・筑後市の未来のために子ども達が考えたことが、実現できるように地域の方でも行動したい。どの学年についても、子ども達の活動の様子から、意義のある活動ができたという評価を頂きました。

次年度の学校地域協働活動について（方針）

地域協働活動と大学協働活動を実施します。

地域協働活動については、本年度同様、各学年1題材において実施します。また、高学年では、学習の意義づけを深めたり、学習した内容を地域に活用して頂いたりできるように地域の関係機関とも連携しながらすすめていきます。

大学協働活動については、本年度同様の活動を行います。また、昨年度新型コロナウイルス感染予防のため実施できなかった夏休み、冬休み後半の勉強会も実施したいと考えています。

5月の本通信「コミュニティ・スクール ちくごきた」にて、具体的な計画についてお伝えします。

北小の子ども達のために、何卒、温かいご支援をお願いします。



消防車の見学



昔遊び